

令和4年度公益社団法人北谷町シルバー人材センター事業報告

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の流行はなかなか収束が見えず、加えて、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴う原油や天然ガス、穀物などの原材料価格や物価の高騰が続き、国民生活や経済に大きな影響を及ぼしています。

このような状況のもと、当センターにおいては、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策や健康確保に努めながら、会員一人ひとりが長年培ってきた知識や技能・経験を生かした就業やボランティア活動などを通じ、地域社会の活性化に貢献できるよう各事業に取り組んでまいりました。また、業務面では、各種講習会等は規模を縮小しての開催や中止、外部会議や研修についてはオンライン形式が主流となるなど、安全に配慮した事業執行となりました。

こうした中、令和4年度の事業実績の概要は、受託事業においては、受注件数は513件で前年度比15件の減となりましたが、契約金額は134,919,643円で5,926,986円の増額となりました。

一方、派遣事業については、企業にとって厳しい社会状況が続いたことから、就業延人員は、昨年度に引き続き目標数値を下回る結果となりました。

会員数については、ここ数年減少傾向が続く中で、前年度比13名の増加となりましたが、目標数値の達成には至っていないことから、今後も会員の拡大に向けて一層の取り組みが必要となっています。

安全・適正就業については、受託事業等業務員2名を安全・適正就業推進員として配置し、就業現場の巡回による安全指導を強化すると共に、連合が主催する安全・適正就業担当者会議や研修に会員等の派遣を行うなど、安全就業意識の高揚を図りながら事故防止に努めました。

今後も、公益法人として適正な事業に取り組むとともに、地域社会のニーズに的確に応えられるシルバー人材センターとして、事業を推進してまいります。

以下、令和4年度の事業概要について報告いたします。

[令和4年度事業実績]

	本年度	前年度	差異	伸び率
会員数	197人	184人	13人	7.07%
受注件数	513件	528件	△15件	△2.84%
契約金額	134,919,643円	128,992,657円	5,926,986円	4.59%
就業延人員	17,623人	16,606人	1,017人	6.12%
就業率	86.3%	90.2%	△3.9%	△4.32%
派遣延人員	194人	239人	△45人	△18.83%
ボランティア参加延人員	189人	99人	90人	90.91%

1 有料職業紹介事業及び一般労働者派遣事業の推進

- ・有料職業紹介事業は、企業等から求人申し込みの依頼は無く実績を上げることはできませんでした。
- ・一般労働者派遣事業については、新規発注者の開拓や既発注者の掘り起こしを行うと共に、登録人員の拡大及び派遣先の確保に取り組みましたが、コロナ禍や発注者の契約解除の影響等もあり、就業延人員は前年度より減となりました。

[一般労働者派遣事業]

	令和4年度	令和3年度	前年度比較
受注件数	2件	2件	0件
契約金額	613,008円	573,389円	39,619円
就業延人員	194人	239人	△45人

2 研修・講習事業の開催

9月には、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたことにより、2年間中止していた、沖縄警察署交通対策課職員による「高齢者交通安全講話」を2日間にかけて実施し、会員の安全運転に関する意識の向上を図りました。

また、就業を希望する町内の一般高齢者及び会員の就業に必要な知識や技能の取得・向上を図るため、「樹木の剪定講習会」をホームページや町広報誌等で呼びかけて開催しました。

その他にも、ニライ消防北谷消防署から講師を招き、事務局職員を対象とした「普通救命講習」を行い、心肺蘇生法やAEDの使用方法など緊急時の応急処置に関する知識やスキルを習得しました。

3 普及啓発活動の推進

センター事業の情報発信として、会報誌「シルバーだよりちゃん」を年3回発行し、会員及び公共施設等に配布しました。また、町広報誌に会員募集や講習会の案内等を掲載し一般町民への普及啓発に努めるとともに、自治会やイベント会場において会員募集や業務内容を紹介したチラシやリーフレット等の配布活動を行いました。

センターの事業を積極的に発信するためのホームページについては、業務内容や会員募集等を更に分かりやすくするため、掲載内容等のリニューアルを行いリアルタイムな情報提供を心掛けました。

さらに、10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」では、町役場ロビーにおいて、「シルバー事業普及啓発ミニパネル展」を開催し、当センターの活動状況写真パネルの展示や会員の製作した工作物・手芸品の展示販売の他、腐葉土の販売及び無料配布を行うなどして、シルバー事業の普及啓発活動を推進しました。

4 安全・適正就業の推進

- ・毎朝のミーティングにおいて、安全保護具の着用、機械器具や車両の点検整備など

確実に実施するよう呼びかけ、安全就業の徹底に努めるとともに、夏場の熱中症予防対策では、こまめに水分補給と休憩をとることを周知しました。

また、県シルバー人材センター連合の安全・適正就業指導員と当センター推進員による共同での就業現場巡回指導を毎月実施し、会員の事故防止に対する安全就業意識の向上を図りました。

- ・ 道路交通法施行規則の改正により、運転業務に従事する会員等の運転前後のアルコールチェックが義務化されることに伴い、アルコール検知器を導入し、毎日就業前後にチェックを行い安全運転及び飲酒運転根絶の取組み強化を行いました。
また、車両事故防止や発生時の対策として、新規購入車両には、バックモニターとドライブレコーダーを取り付けました。
- ・ 令和4年度は、会員傷害事故が1件、損害賠償事故2件、車両事故3件が発生する結果となりました。前年度より7件の減少とはなりましたが、引き続き安全就業に対する取組みを強化し、無事故を目標に努めてまいります。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策としては、昨年度と同様に3密の回避、マスク着用、手洗い等の徹底及びワクチン接種の推奨、さらに各事業班に消毒液スプレーの提供を行いました。

5 調査研究事業の実施

- ・ 当センターが草木類資源化処理事業にて生産している腐葉土の今後のより一層の品質及び生産性の向上を図るため、西原町シルバー人材センターと南城市シルバー人材センターを訪問し、施設や生産工程、販売方法等について視察研修を行いました。
- ・ 会員が希望する就業職種の調査及び健康診断受診状況並びに健康状態等について、アンケート調査を実施しました。 199人送付 ⇒ 回答 101人
健康調査の結果については、会員の健康管理の意識の高揚を図るため、会報誌を通じて健康に関する情報を掲載しました。
- ・ 効果的な事業運営に反映させるため、会員の就業態度や仕事の仕上がり状況等について、発注者満足度アンケート調査を実施し、発注者に提供するサービス内容の改善に努めました。 送付先 ⇒ 企業10件、一般家庭10件、派遣事業2件

6 就業分野の開拓・拡大

- ・ 町が発注する公共施設の軽微な維持管理について、町当局の理解の下、受注の拡大を図りました。
- ・ 民間事業においては、職員による町内の一般家庭へのシルバー事業の宣伝チラシや会員募集チラシのポスティングを行い、就業機会の確保等に取り組みました。
- ・ 「一会員一事業の開拓・会員の加入促進運動月間」を設けて、会員と役職員が丸となって事業開拓と会員獲得を組織的に取り組みました。

7 草木類資源化処理事業の推進

令和4年度は、町内で収集された草木類242トンの処理を行いました。収集された草木類については、資源化処理の一環として腐葉土の生産を行っています。

腐葉土の活用としては、町民を対象に安価で販売するとともに、各種イベント会場において小袋での無料配布や公共施設の植栽事業に無償提供するなど「草木類資源化処理事業」のPRを行いました。また、今年度より新たな取り組みとして4自治会公民館において、腐葉土の定期訪問販売を実施して販売促進を図るとともに会員募集等のチラシ配布を行うなどして、シルバー事業の啓発に努めました。

[腐葉土販売実績]

	令和4年度	令和3年度	前年度比較
販売数	9,239袋	7,687袋	1,552袋
販売金額	1,478,240円	1,229,920円	248,320円

8 相談及び情報提供の推進

- ・職員による、町内の一般家庭への会員募集チラシのポスティングを一部地域で配布しました。

また、毎月第三水曜日に、入会を希望する地域の高齢者に対し、説明会を実施し入会の促進を図りました。

ア 入会説明会 9回 参加者29人

イ 相談・情報提供 31回

- ・毎朝のミーティングで、会員へ当センターの動向及び県内の拠点センターの情報等を提供するとともに、随時会員からの諸相談等も受けてきました。
- ・町広報誌や会報誌等で広くシルバー人材センター事業について、町民に情報提供を行いました。

9 社会参加活動の推進

地域社会の奉仕活動の一環として、10月のシルバー人材センター事業普及啓発促進月間中に、町立3保育所において、園児や保護者、会員と一緒にプランターへの花植え作業を行いました。参加した園児や会員がとても楽しそうで、作業をとおして世代間交流を図ることができ、初めての試みでしたが充実した活動となりました。

その後、北谷町役場前に移動して、役場周辺と町民広場の花壇及びプランターへの花植え作業や清掃活動を実施しました。